（別紙２）

（様式）

令和７年度「デジタル技術を活用した地域課題解決案の提案会」地域課題応募書

提出日　令和７年　月　日

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 応募者 | 団体名 |  | | |
| 担当者  （所属・役職・氏名） |  | | |
| 電話番号 |  | |
| Eメール |  | |
| 地域課題の概要 | 該当地域 |  | | |
| テーマ  （複数選択可） | 防災  　医療・介護・健康  　教育・子育て  　観光・文化  　交通・物流  　農林・水産 | | エコロジー  　地域振興  　働き方・生産性向上  　スマートシティ・IoT基盤  　自治体DX関連  　その他 |
| タイトル |  | | |
| 地域課題の  内容 |  | | |
| 提案会の開催方法 | 希望する  開催形式  （複数選択可） | 対面形式を希望（開催場所：貴団体の会議室）  　対面形式を希望（開催場所：中国総合通信局会議室（広島市））  　オンライン形式を希望  　状況に応じて相談して決めたい（ハイブリッド開催等） | | |
| 利用可能な  Webツール  （複数選択可） | Zoom  　Teams  　その他システム（　　　　　　　　　） | | |

備考

１　提案会の開催形式は、貴団体と地域課題解決案の提案者の希望がマッチする形式での開催となります。ただし、両者いずれかが

オンラインでの開催を希望した場合はオンラインでの開催とします。

２　地域課題解決案の提案者の意向次第で、対面でもオンラインでも構わない場合は、希望する形式をすべて選択してください。

３　企業・大学等と共通で利用可能なWebツールにより提案会を開催するため、利用可能な形式をすべて選択してください。

以上

（別紙２）

（記載例）

令和７年度「デジタル技術を活用した地域課題解決案の提案会」地域課題応募書

提出日　令和７年　月　日

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 応募者 | 団体名 | ○○県、○○市、○○町  *※　地方公共団体又は各種団体の名称を記載してください。*  *※　複数の地方公共団体又は各種団体での共同応募の場合は、全ての地方公共団体又は各種団体の名称を記載した上で、代表団体を明示してください。* | | |
| 担当者  （所属・役職・氏名） | ○○○　○○課　○○　総務　太郎  *※　担当者名を記載してください。*  *※　複数の地方公共団体又は各種団体での共同応募の場合は、代表団体の担当者名を記載して下さい。* | | |
| 電話番号 | ０XX―XXX―XXXX | |
| Eメール | ○○○@○○○.lg.jp | |
| 地域課題の概要 | 該当地域 | ○○市全域、○○町○○地区  *※　「○○市全域」、「○○町○○地区」等と記載してください。複数団体で応募の場合は該当地域全てを記載して下さい。* | | |
| テーマ  （複数選択可）  *※該当する分野にチェックを入れて下さい。* | 防災  （例－２）  　医療・介護・健康  （例－１、例－３、例－４）  　教育・子育て  　観光・文化  　交通・物流  　農林・水産  （例－５） | | エコロジー  　地域振興  （例－３、例－４）  　働き方・生産性向上  　スマートシティ・IoT基盤  （例－２）  　自治体DX関連  　その他 |
| タイトル | *※地域課題の内容に沿ったタイトルを記載してください。* | | |
| 地域課題の  内容 | *※地域課題の内容を可能な限り具体的に記載してください。*  *※記載された地域課題は公表予定ですので、公表できる範囲で記載してください。*  *※公募する地域課題については分野を問いません。以下記載例を参考として記載してください。*  *なお、お示しする例は、公募時に当該地方公共団体から応募された地域課題の内容をそのまま記載しています。*  <例－１：令和6年度　島根県美郷町>  ■長寿県長寿町の要因の把握  　令和５年に発表された人口１０万人あたりの１００歳以上人口割合で、島根県は１１年連続で全国１位となっており、その中で美郷町は、県内１９市町村中２位となった。毎年同程度の順位であるため、「長寿県長寿町」を商標登録し、全国でも有数の長寿の町であることのＰＲ文言と町民の健康寿命を延ばすためのスローガンとして利用しているが、当利用にあたっての下記課題の解決方法を募集したい。    ○具体的課題  ・長寿であることの科学的な要因が不明であるため、ＰＲや健康づくりの施策において100歳以上の人口割合という結果以外の特徴を利用しにくい。  ・100歳以上の人口割合が高いことは、高齢化や死亡率が低いこと等が相関していると考えられるが、実際にどの群団でどの程度死亡率が低いのかが統計的に把握できず、施策立案が行いにくい。  ・ＰＲや健康寿命以外の観光・移住・産業等への利活用も検討しており、一部は進捗しているが、全体的に事業展開手法の知見が不足している。  ○提案いただくことによる期待結果  ・提案いただく技術や知見により長寿要因や統計的特徴を把握し、それを用いた町民の健康づくりや町のＰＲを進めたい。  ・提案いただく技術や手段を用いて、長寿県長寿町を基とした新たな施策を進展させ、地域の活性化を行いたい。  <例－２：令和5年度　岡山県浅口市>  ■情報通信ネットワークの構築と活⽤   当市の市域はコンパクトで、居住区域は幹線道路沿いに位置しており、ＮＷでカバーする必要があるエリアは⼀定の区域に集約されている。   災害対応においては、河川やため池、下⽔道などの⽔位の異常を職員等が⽬視により⾏っているが、市全域を対象にＬＰＷＡをはじめとしたＮＷを構築し、個体の識別や位置情報、計測値や信号データを市が収集し⽔位等の挙動を把握することで、正確な現場の状況を確認できるとともに現場確認時の職員等の⼆次災害の防⽌に取り組みたい。   なお、個別分野の課題への機能拡張（新たな個別課題対応が発⽣した際を想定）が確保できるとともに、ランニングコストやメンテナンス、機能拡張など事業の持続可能性を有することが条件となる。（構築当初の利⽤は⾏政のみを想定。）  ※今後、機能拡張を想定するＮＷの活⽤例  ・有害⿃獣捕獲機へのセンサー等の設置  設置場所へのアクセスが容易でない地域への設置もあるため、遠隔で捕獲情報を確認できることで、当該業務の効率化を図りたい。  ・⾼齢者世帯の遠隔地⾒守りサービスの提供  ⾼齢者世帯の居室の扉など⽣活導線にセンサーを設置し、稼働頻度の分析による⾒守りと孤独・孤⽴への対策を図りたい。  <例－３：令和5年度　鳥取県鳥取市>  ■CATV網を活用した市民サービスの充実  　鳥取市では中山間地域等の不採算エリアを公設民営で整備するなど、全市域においてFTTHによる超高速ブロードバンド環境が整備済であり、世帯カバー率100%、加入率70%、加入世帯数は約55,000世帯となっている。  　現在、TV・ラジオ再送信、地域密着型（自主放送・データ放送）及びインターネットサービスとデータ放送で町内単位の電子掲示板サービスが提供されているが、これらのインフラを活用した地域DXの推進が望まれている。  　ついては、CATV網で  ・高齢者の見守り（家庭内のセンサー）  ・TV画面からお買い物（高齢者、店舗が近隣に無い者への対応）  ・防犯カメラ（公共施設、公園、児童生徒の通学路等）、センサー設置による安心安全なまちづくり  ※防犯、交通安全、高齢者の徘徊や子どもの捜索、不法投棄の監視、センサーを活用したデータ収集などの活用を想定している。  **（事務局追記；CATV網を用いた課題解決提案を受けたい趣旨。）**  <例－４：令和5年度　山口県下関市>  ■ＩＣＴの活用促進による地域ビジネス・商店街振興  　長府地区において、デジタルスタンプラリーを実施したが、スタンプラリーの参加者は紙媒体によるスタンプラリーに参加していた中高年の女性が中心で、スマートフォンの操作に不慣れな人が多く、アプリ（しもまちアプリ）のダウンロードや二次元バーコードの読み取り等の基本的なスマートフォンの操作方法を理解していない、理解に難を伴うなどにより、デジタルスタンプラリーの参加自体を取りやめてしまうなど、事業成果を十分に得るに至らなかった。  　地域課題である地域ビジネス・商店街振興のため、商店街事務局としてもデジタル技術の活用を検討したいが、メインユーザーである中高年の方々を考慮すると、紙媒体からの移行に踏み切ることができず、結果として、商店街での活用が進んでいない状況にある。  　そのため、スマホ操作が不慣れな中高年でも活用しやすいデジタル技術の導入が必要と考えており、売り出しやイベント情報など、紙媒体からスムーズに移行できる仕組みを構築したい。  <例－５：令和4年度　広島県>  ■中山間地域における鳥獣被害防止の仕組みづくり  　中山間地域においては，高齢化等による農地の担い手の不足により耕作放棄地が増加しており，イノシシやシカ，サル，カラス，ヒヨドリ等の被害に悩まされている。  　これまで，ICTを活用したイノシシやシカ等の生息状況及び移動状況や被害状況といった基礎データの把握・分析については一定程度進んできたものの，対策にあたっては集落が一体となって，あるいは複数の市町が連携して取り組む必要がある中で，対策を講じる担い手が不足している状況に変わりなく，被害の軽減につながっていない。  　ICTを活用した効率的な鳥獣の捕獲手法や被害軽減の仕組みを検討したい。 | | |
| 提案会の開催方法 | 希望する  開催形式  （複数選択可）  *※希望する形式にチェックを入れて下さい。* | 対面形式を希望（開催場所：貴団体の会議室）  　対面形式を希望（開催場所：中国総合通信局会議室（広島市））  　オンライン形式を希望  　状況に応じて相談して決めたい（ハイブリッド開催等） | | |
| 利用可能な  Webツール  （複数選択可）  *※利用可能なWebツールにチェックを入れて*  *下さい。* | Zoom  　Teams  　その他システム（　Webex　　） | | |

備考

１　提案会の開催形式は、貴団体と地域課題解決案の提案者の希望がマッチする形式での開催となります。ただし、両者いずれかが

オンラインでの開催を希望した場合はオンラインでの開催とします。

２　地域課題解決案の提案者の意向次第で、対面でもオンラインでも構わない場合は、希望する形式をすべて選択してください。

３　企業・大学等と共通で利用可能なWebツールにより提案会を開催するため、利用可能な形式をすべて選択してください。

以上